

第2回 関節リウマチ・ ベーシック治療セミナーのご案内

謹啓 先生におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、「第2回関節リウマチ・ベーシック治療セミナー」を下記日程で開催する運びとなりましたのでご案内させていただきます。

生物学的製剤の登場もあり、関節リウマチ(RA)治療は目覚ましく進歩しています。治療目標を達成するには、早期に診断し、それぞれの患者さん適した治療を行うことが大切で、DMARDによるベーシックな治療の役割も依然として大きいと考えられます。

本会では、RA診療における診断と治療についての具体的、実践的な情報を共有し、RA患者さんにより良い医療を提供していただくことを目的としております。

諸事ご多忙とは存じますが、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

■ 開催日時 2013年 **2月9日(土)** 15:00-18:50

■ 開催場所 **ホテル阪神 10F ザ・ボールルーム**
大阪府大阪市福島区福島5-6-16 TEL:06-6344-1661

■ 会 費 1,000円

■ 研修単位 日本リウマチ財団教育研修単位2単位 (1単位1,000円)
日本リウマチ学会教育研修単位2単位 (1単位1,000円)
日本整形外科学会教育研修単位2単位 (N[1][6][14],R) (1単位1,000円)
大阪府医師会生涯教育3.5単位 (申請中)

お手数ですが **Web(<http://rabasic.jp>)** にて
参加申し込みをお願いします。

- * 運営準備の都合上、**1月27日まで**にお申し込みください。
- * FAXでもお申し込みいただけます。
- * 定員200名に達しましたら、締め切らせていただくこともございます。

共 催：大阪リウマチカンファレンス／参天製薬株式会社

第2回 関節リウマチ・ベーシック治療セミナー

- 開催日時 2013年2月9日(土) 15:00-18:50
- 開催場所 ホテル阪神 10F ザ・ボールルーム
大阪府大阪市福島区福島5-6-16 TEL:06-6344-1661
- 共 催 大阪リウマチカンファレンス／参天製薬株式会社

15:00-15:05

■ 関節リウマチ治療が目指す方向～ご挨拶にかえて～

京都大学大学院医学研究科 内科学講座 臨床免疫学 教授 | 三森 経世 先生

教育講演 I 15:05-16:15

■ RAの鑑別診断—分類基準スコアリングの前に実施すべきこと

座長 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(整形外科) 教授 | 吉川 秀樹 先生

東京医科大学 医学総合研究所 教授 | 西本 憲弘 先生
大阪リウマチ・膠原病クリニック 院長

① 診察(見る、聞く、触る)でここまでわかる

道後温泉病院リウマチセンター 理事長 | 高杉 潔 先生

② 単純X線撮影でここまでわかる

行岡病院 臨床リウマチ研究室長 | 村田 紀和 先生

「X線クイズ解説」

大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 講師 | 後藤 仁志 先生

RA薬物療法の注意点

座長 兵庫医科大学 内科学講座 リウマチ・膠原病科 主任教授 | 佐野 統 先生
松原メイフラワー病院 院長 | 松原 司 先生

① DMARD、生物学的製剤投与時のリスクマネジメント

京都府立医科大学大学院医学研究科 免疫内科学 教授 | 川人 豊 先生

② HBV既往感染症に対する免疫抑制薬、生物学的製剤使用の留意点

埼玉医科大学 リウマチ膠原病科 教授 | 三村 俊英 先生

休憩 17:15-17:30

パネルディスカッション 17:30-18:50

RA薬物療法の実践—患者さんに最適な治療を提供するために

座長 近畿大学医学部堺病院 整形外科 教授 | 菊池 啓 先生
新潟県立リウマチセンター リウマチ科 診療部長 | 伊藤 聡 先生

① アンカードラッグMTXを使いこなそう

大阪市立大学大学院 リウマチ外科学 准教授 | 小池 達也 先生

② ベーシックDMARD(SASP、BUC)の特徴・位置づけ・使用意義

東広島記念病院リウマチ・膠原病センター 院長 | 岩橋 充啓 先生

③ DMARD3剤併用療法Studyからの提言

松野リウマチ整形外科 院長 | 松野 博明 先生

④ タイトコントロールのためのDMARD、生物学的製剤の使い方

神戸大学大学院保健学研究科 臨床免疫学 教授 | 柱本 照 先生

⑤ ディスカッション(40分)

* セミナー終了後に情報交換会を予定しております。